

研修目的

1. 救急外来

- ・あらゆる救急患者に対して臨床推論を行い、緊急度・重症度を迅速に評価し、気道・呼吸・循環の安定化を図る。
- ・病院前医療から始まる救急医療体制を理解し、多職種と連携しながらチーム医療を実践する。

2. 集中治療（ICU）

- ・臓器別アプローチを用いて重症患者の評価・治療を行い適時適切な介入を実践する。
- ・生命維持装置（血液浄化、人工呼吸器、IABP、ECMO など）の適応を理解し、標準的な管理を経験する。

習得できるアウトカム（能力）

1) 必ず習得できるアウトカム（能力）

A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）

- ・患者背景によらず、全人的な視点で偏りなく患者と接し、救急診療を実践できる。

B. 資質・能力

- ・救急患者/急変患者に対して迅速な ABCD（気道・呼吸・循環・中枢神経）評価を行い、病歴聴取、診察、簡便な初期検査（血液ガス、超音波、心電図等）による鑑別ができる。
- ・気道・呼吸・循環の安定化を目的とした適切な処置を自ら実施する、もしくは指導医のもとに実施できる。
- ・適切な診療計画を立案し、診断と治療のプロセスについて、論理的に診療録を記載できる。
- ・多職種と連携しながら、チーム医療を実践できる。
- ・症例検討会・カンファランスで、簡潔かつ的確な症例提示ができる。

C. 基本的診療業務

- ・心停止に対して BLS を実践できる。
- ・ACLS チームの一員として蘇生治療に参加できる。
- ・GCS・JCS を用いた意識の評価ができる。
- ・SAMPLE 聴取・バイタルサイン・身体所見から緊急度・重症度を評価できる。
- ・気道の異常に対して、手手的気道確保を実践できる。
- ・呼吸の異常に対して、適切な酸素投与（経鼻カニューレ、酸素マスク、高流量経鼻カニューレ、NPPV、バグマスク換気、人工呼吸器）を行うことができる。
- ・ショックを分類し、適切な輸液、血管収縮薬の投与を開始できる。
- ・12 誘導心電図を施行し、その結果を解釈できる。
- ・血液ガス分析検査（動脈・静脈）を適切に施行し、その結果を解釈できる。
- ・血算・生化学・凝固検査を適切に施行し、その結果を解釈できる。
- ・緊急 CT/MRI の適応を判断し、読影のポイントを理解し、放射線科医・指導医と連携できる。
- ・適切なタイミングで、明確な診療意図をもって他科コンサルテーションができる。
- ・重度侵襲患者に対して臓器別アプローチを用いてアセスメントを行い、適切な呼吸・循環・腎電解質・消化器・神経・血液凝固・代謝内分泌、栄養管理、PICS 予防を実践できる。
- ・症例検討会において、入院患者情報を的確にプレゼンテーションできる。
- ・遅滞なく退院サマリーを作成できる。

2) 研修医の意向により習得できるアウトカム（能力）

A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）

- ・多職種による社会調整が必要な患者の退院支援の立案と実践に関わる。

- ・集学的治療に反応せず不可逆的脳障害・臓器障害となり、終末期を迎えた患者とその家族に対する説明と同意の場に指導医と共に参加する。
- ・蘇生に反応しない心停止患者の看取り対応を行う。

B. 資質・能力

- ・学会発表、論文化ができる。

C. 基本的診療業務

- ・Point of Care Ultrasound を実践できる。
- ・指導医と共に、気管挿管、抜管、胃管挿入、CV カテーテル挿入、A ライン挿入、気管支鏡、人工呼吸器管理、血液透析管理、ECMO 管理、創処置、気管切開などを行うことができる。

具体的な指導方法・フィードバック方法（研修方略）

- ・救急患者診療後に、個々の患者の診療内容についてリアルタイムフィードバックを行う。
- ・症例検討やカンファランスの際に、プレゼンテーションスキルについて直接指導を行う。
- ・電子カルテの指導医承認の際に、コメントを付けて診療計画の適切性や論理的な記載について指摘する。
- ・研修期間の中盤で面談を行い、前半での成果（経験症例数、診療手技の習熟度、カンファレンス発表の習熟度など）を確認し、後半での改善に向けてコーチングを行う。
- ・心肺蘇生の標準化された手順の習得については外部セミナー（ACLS コースなど）の受講を促す。

週間予定表

	午前	午後	夕方
月	ER 当番：8:30 から救急センターで急患対応 病棟番：8:30～9:00 入院患者の症例検討 9:00～9:30 ICU 多職種カンファランス 9:30～10:30 病棟回診 10:30～ICU/一般病棟業務	ER 当番：救急センターで急患対応 病棟番：ICU/病棟業務	ER 当番：～17:15 救急センターで急患対応 病棟番：16:30～17:15 ICU/病棟回診
火	同上	同上	同上
水	同上	同上	同上
木	同上	同上	同上
金	同上	同上	同上

指導責任者および指導医

指導責任者： 遠藤 智之

指導医： 阿部 良伸、板垣 秀弥

学会発表・論文作成に対する指導体制

指導医が発表のためのスライド作成、プレゼンテーションの指導を行う。

論文化については、指導医と共に manuscript 作成、投稿、査読対応等を行う。